

クリーンセンター多摩川へ行ってみよう!! 〜ごみ処理の流れを見てみませんか〜

毎日生活する中で出ている狛江市のごみは、稲城市にあるクリーンセンター多摩川で処理しています。

この施設は、ごみを処理するだけではなく、燃やす時に発生する熱エネルギーを利用して蒸気等をつくり、発電等を行い、環境への負担を減らしています。

また、残った灰(塵)を溶かしたものを使ってコンクリート製品等に活用しています。

その他にもごみの中から鉄やアルミなどの資源を回収しています。これらの処理を実際に見てみませんか?個人での見学もできますので、直接お問い合わせください。

申し込み方法等

【見学日】事前に予約が必要です。

平日 午前9時から午後3時まで

(土・日曜日、祝日と12月28日から1月5日は除く)

【申し込み】

2ヶ月前から受付。団体(個人でも対応します)。事前に電話でお問い合わせください。

【問い合わせ先】

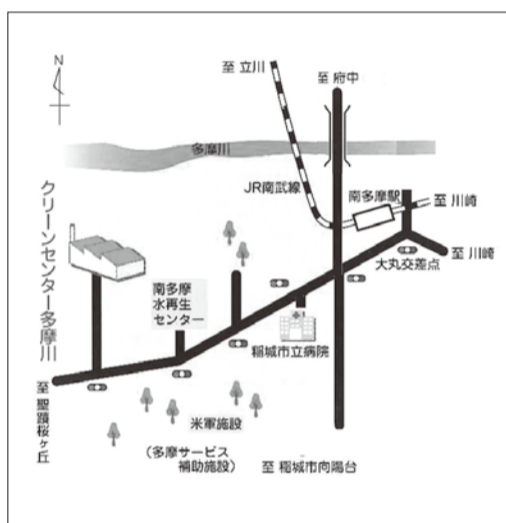
東京都稲城市大丸1528番地

多摩川衛生組合総務課総務係

【電話】042-377-3601

【交通アクセス】

JR南武線「南多摩駅」から徒歩約25分。バスでのアクセスはありません。



約2.5tをひとつかみ!



燃やせるごみが1日約350トン集まります

ごみは収集日当日の朝に出して 住みよい街にしましょう

狛江市では、どの地域の方にも、ごみ収集日の午前8時までに出していただいています。収集時間は、道路状況やごみの量などによって一定ではありません。また、集合住宅の場合は、敷地内に専用のごみ置場を設置していただいています。ごみ置場があるからといって収集日以外の日にごみや資源物を出すのはルール違反です。

日常的にごみをためおくことは不衛生であるばかりか、不法投棄を誘発する原因にもなります。

ごみを出す人のモラルが一番の問題ですが、管理者や所有者からの適切な指導を行っていただくようにご協力をお願いします。

皆でやれば効率アップ!

ペットボトルのふたは外してコンテナへ

ビン・缶リサイクルセンターでは、毎日たくさんさんのビンや缶、ペットボトルを中間処理しています。ペットボトルは、圧縮処理していますが、ふたがついているとつぶすことができないため、一つひとつ手で外して処理しています。

「ふたを外すのが面倒」「自分だけならいいか」と、ふたをつけたまま出したペットボトルが集まると何百本にもなってしまい、これを毎日手で外す作業が必要となります。皆さま一人ひとりのご協力をお願いします。

また、ペットボトルはボトルを作るときにも処理するときにも環境に大きな負担がかかっています。お気に入りのマイボトルを使うなど、ペットボトルの排出量の減量にもご協力をお願いします。



困ってます

ふたは外しコンテナへ

ラベル(燃やせるごみ)をはずし

軽く水洗いしつぶしてコンテナへ

